

図書館へいこう!

第164回直木賞芥川賞受賞作入荷!

<直木賞受賞>

『心淋し川』

西條 奈加 / 著



江戸の片隅、小さなどぶ川沿いに建ち並ぶ長屋。住人たちは人生という川のどん詰まりでもがいていた。懸命に生を紡ぐ人々の切なる願いが胸に沁みる感動連作!

<芥川賞受賞>

『推し、燃ゆ』

宇佐見りん / 著



ままならない人生を引きずり、祈るようにアイドル上野真幸を推すあかり。ある日、真幸がファンを殴って炎上し…。

上記『推し、燃ゆ』も含む、「本屋大賞」の2021年ノミネート10作品も館内にて展示しています。

大賞作品を予想してみませんか?  
(大賞発表は4月上旬予定。)



今月のBEST本

(1月の貸出回数上位本)

『悪魔を殺した男』

神永学 / 著



「逆さ五芒星」連続殺人事件の犯人はひとり白い密室にいた。孤独な病棟にたたずむ「悪魔」はなにを黙考するのか? 嫉妬、陰謀、欲望、快楽…業に塗れた人間が引き起こす事件は、新たな事件を呼び…。サスペンス・ミステリー。

話題の新着本

『刑事の枷』

堂場瞬一 / 著



交番勤務から川崎中央署刑事課に異動した若手警察官・村上は、署内で疎まれるベテラン刑事・影山に強引に連れ回される。10年前の殺人事件を独自に捜査する影山と行動を共にする村上は、やがて未解決事件の解明に惹かれて…。

『十年後の恋』

辻仁成 / 著



パリで暮らすシングルマザーのマリエ。小さな投資グループを主宰するアンリ。運命的なふたりの出会いは、新型コロナウイルスに翻弄され…。新しい世界の永遠の恋心を描いた長編小説。

『鼠、十手を預かる』

赤川次郎 / 著



次郎吉、目明しに転身!? うっかり十手を預かったばかりに、迷子捜しに夫婦喧嘩の仲裁と、慣れない御役目に大忙し…。大泥棒・鼠小僧次郎吉が江戸を駆け巡る!

『ラズプーチンの庭』

中山七里 / 著



警視庁捜査一課、犬養隼人の娘の友人・庄野祐樹は長い闘病生活を送っていた。自宅療養に切り替えた1カ月後に急死した祐樹には奇妙な痣があった。同時期に、同じ痣を持つ女性が自殺し…。

『国道食堂 2nd season』

小路幸也 / 著



田舎にあるけれど、何を食べても美味しい食堂<ルート517>。そこは、お店の中にプロレスのリングがある。そこで結婚式を挙げることに!? ちょっと変わった店に通う人々の様々なドラマを描く。

『ヘルメースの審判』

楡周平 / 著



家電製品の発火による死亡事故で、経営体質を非難された世界的電気機器メーカー・ニシハマ。創業家一族に婿入りした梶原賢太は、ニシハマが窮地を脱するための極秘計画に携わることに…。

